

NPO法人 自立生活センター STEPえどがわ 会報

STEPっ子パラダイス

all for ワ
ダソー!!

えぬぴーおーほうじん
じりつせいかつせんたー
すてっぷえどがわ
かいほう
すてっこぱらだいす
おーるふおあわんだふおー

ねん がつごう
2010年6月号



「あみぐるみ」って皆さんはご存知ですか？恥ずかしながら私は
知りませんでした。フツーにぬいぐるみだと思っていたのですが、
その名の通り、縫って作るものではなく主に毛糸などを編んで作る
ものを、あみぐるみというそうです。

そしてこのあみぐるみを作ったのが、なんと！現役大学生の男性ヘルパーM君！しかもかなりの完成度！もちろんこの写真はすべて
彼作です。ちなみに向かって右手前にいるキャラは、STEPえど
がわオリジナルのダンサナクセイバー。これらの作品は、運が良ければSTEPっ子バザーにてゲットできるかも…



目次

も く じ



わ 分けられて生きる	2
かいじょしゃ みな 介助者の皆さんへ	4
はつ がいしゅつかいじょ でいーびーあいそうかい いん はこだて 初！外出介助 D P I 総会 in 函館	7
ボランティアフェスティバル 2009 ほうこく 報告	9
す て つ こ なつまつ STEっ子夏祭り 2009	10
ちゃくしょうまえしんだん はんたい 着床前診断に反対するシンポジウムを開催しました	12
ピアカウンセリングセミナー 2009	14
す て つ こ STEっ子バーベキュー 2009	15
ピアカウンセリング じゅうちゅうこうざ 集中講座 2009	17
クリスマス会 かい さんか に参加して	19
ぼうさいかん い 防災館に行ってきました！	21
ぱあ ~ っ と まんかい はなみ ぱあ ~ っと満開！お花見 2010	24
じりつせいかつ む 自立生活に向けて	27
かつやみつ のぶ じょうほうはっしん 勝矢光信の情報発信コーナー	28
へるぱーさんたちのあそびば	31
かつどうほうこく 活動報告	32
かいいんぼしゅう 会員募集	34



わ 分けられて生きる

よしもと りゆうじ
良元 竜次

わたしは、生まれた時から「障害者」「在日韓国人」と言われて生きてきた。人は、私のことを何かと分けるように接してくる。性別や年齢の分け方とは違う。可愛そうに、大変だね、頑張ってるね、辛かったですよ？日本語しか喋れないの？と、何故だか苦笑いをして、不思議そうに話してくる。そして、そんな時は、見下げのように上から目線である。思えば、私は、ずっと上から覗かれて生きてきたのかもしれない。

話は変わるが、これだけ何でも自由で裕福な日本社会ではあるが、その中心は健全者と言われる人達作り上げている。その中で生きるマイノリティーな障害者や外国人は、肩身を狭くして生きているのは数十年前と変わっていない。

確かに、ここ数年で、ノーマライゼーション、バリアフリー、という言葉看板に、公共交通、建物、社会保障制度など目に見えるものとして変わってきている。しかしそれは、今までの健全者社会の反省に立ち、変えていこうとしているのだろうか？

私は、そう感じていない。

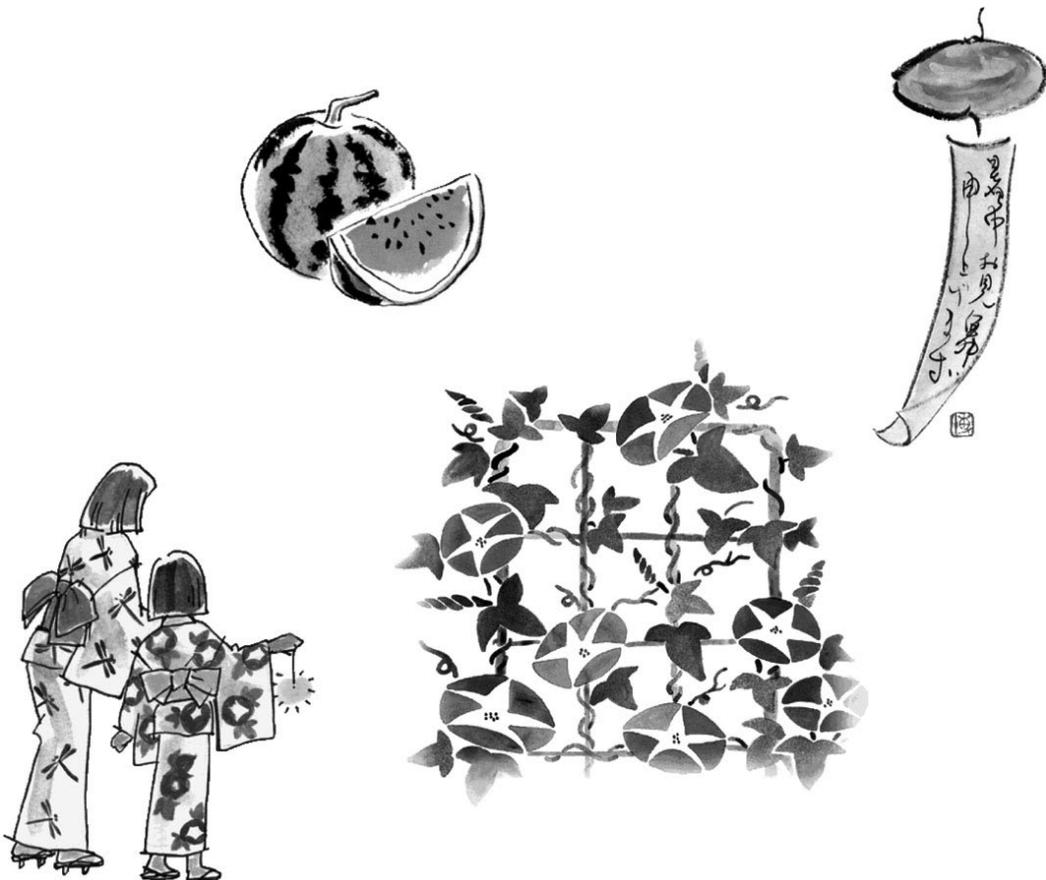
そもそも、ここ数年で社会が変わってきたのは何故なのか？ここ最近、路線バスに乗る機会があった。ノンステップバスは、後ろの席を折りたたみ、後部口からスロープを出して車椅子は先に乗車する。特別変わった事ではないのだが、殆どの運転手は、運転席から面倒くさい顔をして降りてくる。同じ乗客たちも、早く乗ってくれとばかりな顔をして眺めている。街中の大型店にはエレベーターや車椅子でも利用できるトイレなど設備が整っている。しかし、エレベーターに乗りたくても満員で乗れないことが少なくない。エスカレーターや階段は、どうしたのだろうか？

トイレも、確かに、「誰でもトイレ」なのだから、誰でも使って良いが、このトイレしか使えない者にとっては、「そこだけトイレ」なのだ。どこでも使える人達が広くて綺麗だと言う理由なのか、占領している事がある。他にも、列車に乗車する際、駅員がスロープを持ってきて乗車をサポートしてくれる。しかし、その際、マイクで「お客様〇〇駅までご乗車！」と、大声で叫ぶ。私は常に多くの人達から監視されて

いると言う事になる。

こんな話は、いくらでも出てくる。障害者は、常に同じような扱いをされない。別扱いだ。狭い入り口から階段を使い乗車する路線バス。階段や段差があり、和式で手すりもないトイレ。階段やエスカレーターしかない店舗。数の力で、当たり前のように作って来てしまった日本の社会。今、本当に変えようとしているのだろうか？ならば、一人一人が、本当に今までの社会作りを反省して謝らなければいけないのではと私は、思う。そして、聞いてこなかった当事者の声をしっかりと聞いて新しい社会を作っていく事が大事なのではないかと思う。

人の心のどこかで、自分と障害者は違う。同じ扱いはされたくない。と叫んでいるのなら、誰もが当たり前前に生きられる社会は作られないし、自らの生きかたも保障されない世の中になるのではと思う。私は、在日韓国人として、障害者として生まれ育った事でおのずと、この、健全者社会の日本で、自らと違う境遇や立場の人達と出会ってきた。その事で、色々な考えを持つことができ、差別や偏見がないとは言わないが、相手を受け入れる自分で居られた気がする。自分と相手は違う。しかし、それは、偏見や差別で分けるのではなく、素敵な出会いとして受け入れよう！そして語り合い、作り上げよう！「誰もが当たり前前に生きられる社会」を。

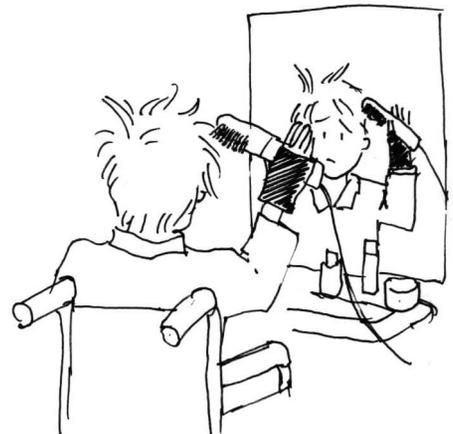
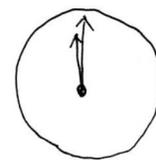
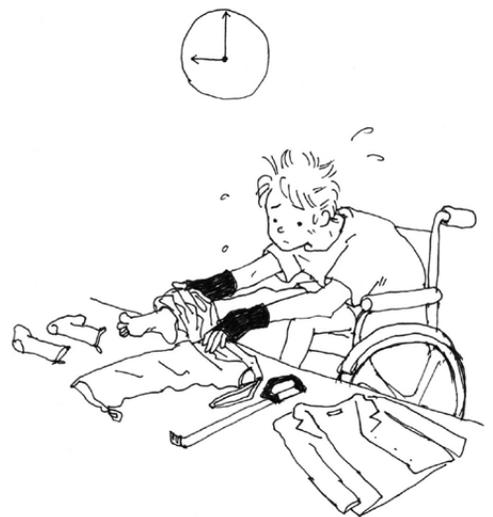


かいじょしゃ みな
介助者の皆さんへ
いがかく しゃかい
~あなたは「医学モデル」or「社会モデル」?~

いまむら のぼる
今村 登

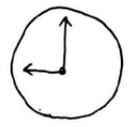
ぞんじ とお さくねん がつ にち そうせんきょ けつ か みんしゅとう ちゅうしん あたら
ご存知の通り、昨年8月30日の総選挙の結果、民主党を中心とする新しい
れんりつせいけん たんじょう あと だい ながつま こうろうだいじん
連立政権が誕生しました。その後10.30大フォーラムで長妻厚労大臣が「みなさん
おも ふたん くる そんげん きず しょうがいしゃじりつしえんほう はいし めいげん
に重い負担と苦しみと尊厳を傷つけるこの障害者自立支援法を廃止する」と明言
し、12月には障害者権利条約の締結に必要な国内法の整備を始めとする我が国の
しょうがいしゃせいど しゅうちゅうてき かいかく おこな しょう
障害者制度の集中的な改革を行うための「障がい
しゃせいどかいかくすいしんほんぶ た あ なかみ
者制度改革推進本部」が立ち上がり、その中身を
あ しょう しゃせいどかいかくすいしんかいぎ
つくり上げていく「障がい者制度改革推進会議」
がつ からスタートしました。また、おな がつ
が1月からスタートしました。また、同じ1月、
しょうがいしゃじりつしえんほういけんそしょう げんこくだん くに
障害者自立支援法違憲訴訟において、原告団と国は
じりつしえんほう はいし しんぽう せいてい きほんごうい
自立支援法の廃止と新法の制定で基本合意がなされま
しんぽう なかみ すいしんかいぎおよ ぶかい ね あ
した。新法の中身はこの推進会議及び部会で練り上げ
られていく予定とのことです。

このように、いまこの国の障害者制度は、大きな
てんかんてん さ しんせいど ほうりつ こま
転換点に差しかかっています。新制度や法律の細
かなもんごん がどのように変わるかはもちろん重要で
すが、いちばんのポイントは、しょうがい ちりょう たいしょう なお
が、一番のポイントは、障害を治療の対象（治すべき
もの・無い方が優れているもの）とし、個人の問題
み いがかく
と見なす「医学モデル」としてとらえたままでいく
のか？それともしょうがい ひと はいじょ かんきょう
のか？それとも障害のある人を排除してしまう環境、
システム、しこう しゃかい がわ もんだい しゃかい
システム、思考など、社会の側の問題とする「社会
モデル」としてとらえてさいせつけい さいこうちく
モデル」としてとらえて再設計、再構築できるか？
じゅうよう われわれ ちが ちゅうもく
が重要であり、我々としてはこの違いに注目しながら
せいどかいかくすいしんかいぎ ぎろん どうこう ちゅうし
ら、制度改革推進会議の議論、動向を注視していく
ひつよう げんざい こくないほう もんだい
ことが必要です。なぜなら現在の国内法の問題は、

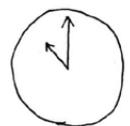


しょうがいしゃきほんほう しょうがいしゃじりつしえんほう がっこうきょういくほう いがく
障害者基本法にしる、障害者自立支援法にしる、学校教育法にしる、医学モデルの
はっそう つく てん
発想で作られている点にあるからです。

せいどかいかくすいしんかいぎ ほうしん しゃかい かんてん こくないほう せいび
制度改革推進会議の方針としては、社会モデルの観点で国内法を整備していくと
いわれていますが、じっさい ほうりつ かいいてい しんぽう せいいてい だんかい
実際に法律の改定、新法の制定の段階になったとき、各省庁
や、きゅうたいぜん りがいかんけい そしき ていこう とき せいじりきがく
旧態依然とした利害関係にある組織などからの抵抗や、時の政治力学によって
せいそう ぐ ほねぬ ほうあん せいどかいかくすいしんかいぎ
政争の具とされたりすると、骨抜き法案とされかねません。制度改革推進会議ができた
こと、いま かのうせい かん おお きたいかん しょう
ことで、今までにない可能性を感じ、大きな期待感も生じますが、だからといっ
てしょうがいたうじしやうんどう おとな
て障害当事者運動が大人しくなってはダメです。た
だ、たいぎやうせい こうず うんどう ぎやうせいきかん
だ、対行政という構図の運動ではなく、行政機関
なか ほつそく せいどかいかくすいしんかいぎ ほうこう そ
の中に発足した制度改革推進会議の方向が逸れて
い ちゆうし かいぎ も あ
行ってしまうぬよう注視しつつ、会議を盛り上げ、
しょうがいしゃけんりじやうやく そ こくないほう せいび
障害者権利条約に沿った国内法を整備されていくよう
ものもう
物申していきましょう。



しょうがいしゃ せいど かいじよしゃ
ところで、障害者の制度のことなので、介助者には
ちよくせつかんけいな おも かつ
直接関係無いと思う方もいるでしょう。しかし、じつ
みつせつ かんけい
密接に関係しているのです。それは単に介護報酬単価
あ たぐい みな
が上がるかどうかとった類のものではなく、皆さんの
か ち かん もんだい かんれん かいじよしゃ みな
価値観の問題と関連してくるのです。介助者の皆さん
しょうがい いがく
が障害を「医学モデル」でとらえたままでは
くに せいど か い かごん
は、国の制度は変えられないと言っても過言ではな
いでしょう。なぜなら、けつきよく せろん ちかかん か
結局は世論の価値観が変わ
らなければ、せいじか くるう ほうりつ つく
政治家は苦勞して法律を作ろうとしな
いからです。ふだん みちか せつ みな か
普段、身近で接している皆さんが変わ
らなければ、いっばん せろん か こと
一般の世論が変わる事などありえない
でしょう。それでも変わるとしたら、「かわいそう
だから、すこ しょうがいしゃ いけん か
少しは障害者の意見をきいて変えてあげて
もよいんじゃないの」的な恩恵・施しレベルの発想
せろん うご とき
で世論が動いた時でしかないでしょう。



おきなわ きちもんだい みな
沖縄の基地問題のことを、皆さんは、どれだ
けじぶんの みに おか かんが らち
け自分の身に置き換えて考えていますか？拉致、
ひんこん ざいにちがいこくじん なんみん やん ぼ
貧困、在日外国人、難民、八ッ場ダム、ハンセン

初 外泊介助!

でいーびーあい そうかい いんこはこだて
D P I 総会 in 函館

しかも距離
ちやうきより

がいはく がいじよ

ぬのかわ ゆう
布川 悠

6月14日・15日、D P I の総会と分科会が行われたため、STEPの皆さんと北海道に行きました。私にとっては、初めての旅行での介助ということもあってドキドキしながらの出発でした!

まず飛行機に乗るだけでも、いろんな不都合なことがあって一苦労。そして離陸の時、丸田さんが「頭もってかれる!」といっ



て笑っていたけど、本当に身体を支えてないと危ない感じでハラハラしましたが面白かったです(^^) 旅行介助を実感した一番最初の体験でした。



函館に無事到着してから、送迎の車でホテルに直行しました。7月だというのに函館は肌寒かった(>_<) ホテルの部屋はバリアフリーでとっても広くて素敵でした。大興奮した私たちでした。しかもすぐ近くに市場がある! ということでグルメな皆さんは大喜びでした。だんだん目的が、会議から「美味しいものを食べる」ことに変わってきたみたいでした(笑)



函館についてから2日目、3日目と連続で、会議に参加しました。私はあてもなくさまよって、北海道で活躍している歌手の歌を聴いたり、一緒に踊らされたりしました。地元の人々と触れ合えてよかったです★会議についてはこれくらいしか書けないのですが…すみません! 皆さんは



まじめ かいぎ さんか
 真面目なテーマの会議にそれぞれ参加
 されていましたよ！とアピールしてお
 きます(笑)あとはとにかくいろいろ
 なものを食べた記憶があります♪ジン
 ギスカンはくさいけど美味しかった！



はなばたけぼくじょうほんてん い あさ くるぶたどん た はんぶん た
 花畑牧場本店にも行ったし、朝っぱらから黒豚丼を食べたりしました。半分も食べら
 れなかった。いちばんたの みつかめ よる かと ひとへや
 一番楽しかったのが、3日目の夜にステップの方たちがホテルの一部屋
 に集結して、鍋をしたことです。食材も市場で調達し、新鮮そのものでかなり豪華
 な鍋です。そしてヘルパーHさんが調理してくれて、人生初アワビをいただきちゃ
 いました！アワビ美味しいな～。みんな幸せそうでした(^^) STEPの皆さんと
 ほっかいどう き なべ ふしぎ かん すごか
 北海道まで来て、みんなで鍋をしているなんて不思議な感じですが、素敵な時間でした。

ざんねん かん かんこう い かいだん
 残念だったのは、オルゴール館に観光に行ったら、階段しか
 ないとのことで車いすでは入ることもできなかったこと。見た
 かったな～悲しいなって丸田さん。こういうことはしょっちゅ
 うあるのだろうなって思います。誰もが行きたいところに行ける
 まち たいせつ しょうがいしゃ かと
 街になってほしいです。そのためにも、どんどん障害者の方
 が外に出ていくことって大切なものだなって感じました。また
 ほっかいどう い かん
 北海道に行ったら、オルゴール館にエレベーターがついていた
 らいいな。



わたし さんぼくよつか ほっかいどう かいじょ おも で
 私は三泊四日の北海道での介助でしたが、たくさんの思い出
 ができました。なにもかも貴重な経験です。海鮮アレルギーな



わたし いちば
 私には、市場のにおいがくさくてたまらな
 かった！食べられないものばかりだった！
 というのも良い思い出です(笑)本当にあ
 りがとうございました(^^)



ねん ほうこく
2009年 ボランティアフェスティバル報告

ボランティアフェスティバルに
ダンサクセイバーが
やってきた！！

やあ！みんな！ダンサクセイバーだよ！2009年7月12日にボランティアフェスティ
バルが開催されたんだ。STEPえどがわの皆と一緒に今回も参加してきたぞ！
よ～し！『誰もが住みやすい街づくり』を目指して頑張るぞ～！！



↑STEPえどがわのブースで
は活動紹介をしていたぞ！



↑災害時支援ボランティアの方に
人命救助の基礎を教わったぞ！



↑マスクをしても
人工呼吸は出来るんだ！



↑ちびっこを軽々持ち上げる
すごいパワー！



↑ちびっ子に大人気！



↑人気がありすぎて休む暇も
無いのだ！



↑高校生にも大人気！

←江戸川区長と握手！！「江戸川区の未来は君にかかって
いる！」・・・と言われているような気がしたよ。

なつまっ STEPの子 夏祭り

おおたき りょうこ
大瀧 涼子



なかよ かぞく さんか
仲良く家族で参加！
とくしょう
特賞はおねえちゃんです！！

2009年8月17日、STEP恒例の夏祭りがありました。毎年人が増え続けているようですが、今年は大人62名、子供8名と70名の参加がありました。たくさんの方の参加者で事務所は満員御礼。熱気むんむん。また、女性のみならず男性の浴衣の参加者も見受けられ夏祭りらしい艶やかさがありました！

夏祭りは、お金での直接の売買ではなく、チケットで(当日換金していただきました)交換するというひと手間

を加えるだけで、日常と少し違う雰囲気。学生時代の文化祭を思い出させ、若返ったようです。

ヤキソバ、焼き鳥、お寿司セット、フルーツポンチ他、当日の気分、仕入れ次第の商品…。また、恒例のくじ引き！今年は特賞が最後まで出ない！と、言う結果に盛り上がりました。夏祭りらしい気温の会場では予想以上にビールが売れたと思ったら、赤い顔をした大人がたくさんいました。



の 飲みすぎ?! ふざけ過ぎ~

そんな当日の雰囲気は…。

最後に、当日参加して楽しんでいただけたみなさん！ありがとうございました！

また、お昼からの下ごしらえ～終了後の後片付け。お手伝いしてくれた、たくさんの方。ありがとうございました！！

(次回もよろしく願います！)

楽しんでくれた方。お手伝いしてくれた方。そんな皆さんがいてくれたので楽しい夏祭りを作り上げることが出来ました。次回もぜひよろしく願います。



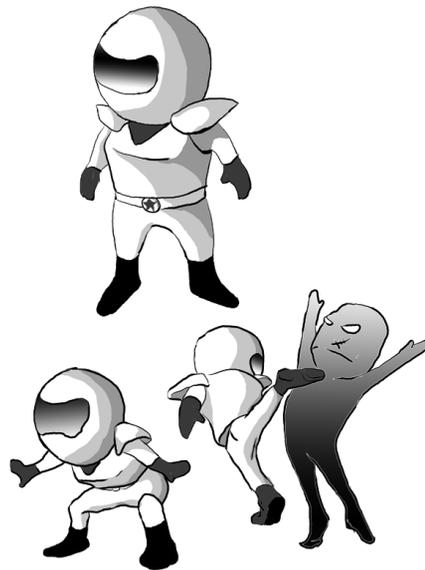
たの とも楽しそう♪
ゆかたすた すてき
浴衣姿も素敵です



問題点やその背景にある社会のあり方、そして障害のあるなしに関わらず生きるということのすばらしさについて、多くの方々と共に考える時間になりました。

今後も、「着床前診断」は決して障害者だけでも他人事でもなく、すべての人の問題であり、すべての命は大切に尊く、歓迎されるはずであり、重い障害を持ちながら、その人らしい充実した人生を送っている障害者は多くいることを私たちの身をもって伝えていきたいと思ひます。

また、シンポジウムや講演会、勉強会などの依頼があれば、どんなところでもメンバーが駆けつけます。私たちと一緒に考える機会を作りたい！と思ひ方、是非ご一報お待ちしております。



2009年

ピアカウンセリング セミナー

いまむら のぼる
今村 登

恒例になりつつある？ 1年に1回のピアカンセミナーを、
2009年9月19日に開催しました。正直、「ピアカンは苦手
だなあ・・・」「俺には必要なさそう・・・」と思っていた
おいらですが、前年に受講した長期ピアカン講座によって、
「あれ？そうでもないぞ！」「自分にも必要だったのね」と
改心？し、オーガナイザーを務めたのでした(^^ゞ



今回はうちの当事者スタッフのまるちゃんこと丸田君枝がリーダーデビューを果たし、サブリーダーには、まきちゃんこと堀内万起子さんをお招きし、フレッシュ&パワフルな2トップのリーダーで進められました。

参加者は計37名。そのうち、今回が初めての受講となった方が約3分の1を占める22名。ま、ほとんどがうちの新人ヘルパーさんたちだったんですけどね。

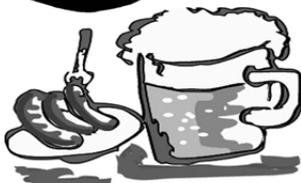


事務局長がオーガナイザーだからと言って、業務命令による強制参加、もしくはパワハラで参加させてたなんてことは、決してございません。

さて、このセミナーに参加した障害当事者のうち、誰が次に自立生活を目指し始めるのでしょうか？あの手この手でアフラック（招き猫ダッ〜クゥ♪）



STEP 3 BBQ




おおたき りょうこ
 大瀧 涼子

2009年10月3日、小雨降る中BBQがありました。晴れでしたら例年通り篠崎公園の野外にて広々としたBBQになったのですが、今回は雨降り！もしかしたら晴れるのでは！？と悩ましい小雨であったのでギリギリまで決断を遅らせたが…。晴れることはなく急遽事務所での決行でした。



準備は朝早くから始まっていた為に中止にするのはもったいない！と、強行?!。参加者は少ないかも。と、思っていたところ、大人43名、子供5名とたくさんの参加者がありました。雨の中参加してくれた皆さんありがとうございました。

おかげで当日は大盛り上がりの大盛況♪。

お花見に続いてのゲーム、「モナカグランプリ」！最中の中に餡以外の何か…。が入っていたら我慢して！当りを引いたことがバレたら負け！せっかくの当りを引いてもバレたら豪華景品が当てた人のものになってしまう。泣くに泣けないゲームですが…。今回で2回目のこのゲーム。盛り上がります！年4回のイベントのいずれかでまたあります。やります。ぜひ参加してくださいね！

お肉に野菜、魚介類などたくさん食べて飲んで、ゲームで熱くなった面々はこの人たちです！

今回は室内でのBBQでした。たまに



子供もたくさん参加～。皆さんもご家族お誘いの上どうぞ！
 ちなみに、お子さんは3人とも2歳で同級生！

は野外で〜！との気分でしたが、室内BBQも新鮮な雰囲気ではとても楽しかったです。2歳の息子も参加しましたが女性ヘルパーさんに惚れたのか、足にしがみついて！離れませんでした…。いい思い出です。ぜひ皆さんも友達、恋人、家族いろいろな人を誘ってイベントに来てください。働いているヘルパーさんだけでなく、小さな子供、学生さん、大人。みんなが楽しめる。たくさんの人との交流が持てる。STEPイベントってス・テ・キ。

次回はもっともっとたくさんの人と交流がありますように。



2009年

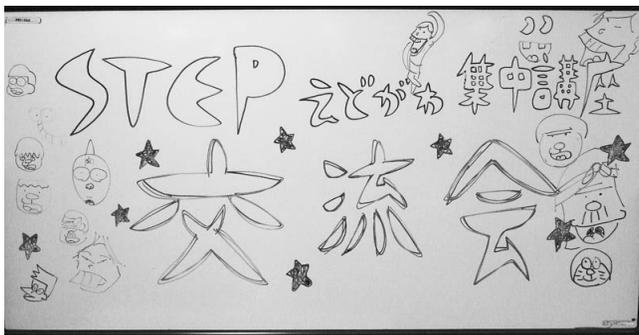
ピアカウンセリング

集中講座

しゅうちゅうこうざ

つちや みねかず
土屋 峰和

人にはいろいろな感情がある。普通にあたりまえの事だとおもう。例えば、毎日の繰り返しの生活の中で、いつの日からか気持ちの中にも偏りができてしまい、何となく決まった感情しか感じなくなってしまう…なんて事はないだろうか。ほんのちょっとした事の積み重ねなのかも知れない。仮にそうだったとしても、普段の生活の中ではなかなかそれに気付かず毎日が流れていく。



もしかすると普段自分が思っている以外にも“何か”があるかも…？と思えるようになったとき、その先にある“何か”も変わるような気がします。そんな何かに気付かせてくれる場の一つとして、ピアカウンセリングがあるのかなと、今回初めてオーガナイザーを務めてみて思いました。

今回のピアカウンセリング集中講座は、2009年11月6日から2泊3日の日程で、新宿区立障害者福祉センターにて開催しました。リーダーはSTEPえどがわの丸田君枝が務め、サブリーダーには自立生活センターの小林由起子さんに協力いただきました。

集中講座の場合、基本は泊まりでの受講になります。最初のうちは、初対面や外泊・その他に不安を抱く方もいたと思います。しかし、日を追うごとに緊張感もほぐれ、違和感なく自然になじんでいったように感





じました。これも泊まりがゆえに時間的な
 余裕ができ、気持ち的にも余裕が生まれた
 ためではないかと思ひます。



そんな自然になじめてきた頃に更に交流
 を深めてもらいたいと、介助者を始めSTEPえどがわのスタッフも混じり、交流会
 も期間中に開かれました。この中では、ちょっとしたゲームを二つ企画しました。一
 つ目は、STEPえどがわでは恒例になりつつある“輪ゴム渡しリレー”。二つ目は“ご
 当地自慢コーナー”。

輪ゴム渡しリレーとは、それぞれが割り箸をくわえその割り箸に輪ゴムを掛けて、
 手を使わずに輪ゴムを隣の人の割り箸に渡していくという
 ゲームです。今回は二班に分かれ早さを競いました。この
 ゲームは輪ゴムを渡すときに隣の人と顔がかなり接近するた
 め、おもしろ恥ずかしいような感じで、ちょ～エキサイテイ
 ング！また、隣が同性・異性でも変わるためかなりの盛り上
 がり具合でした。マジでけっこう盛り上がります。

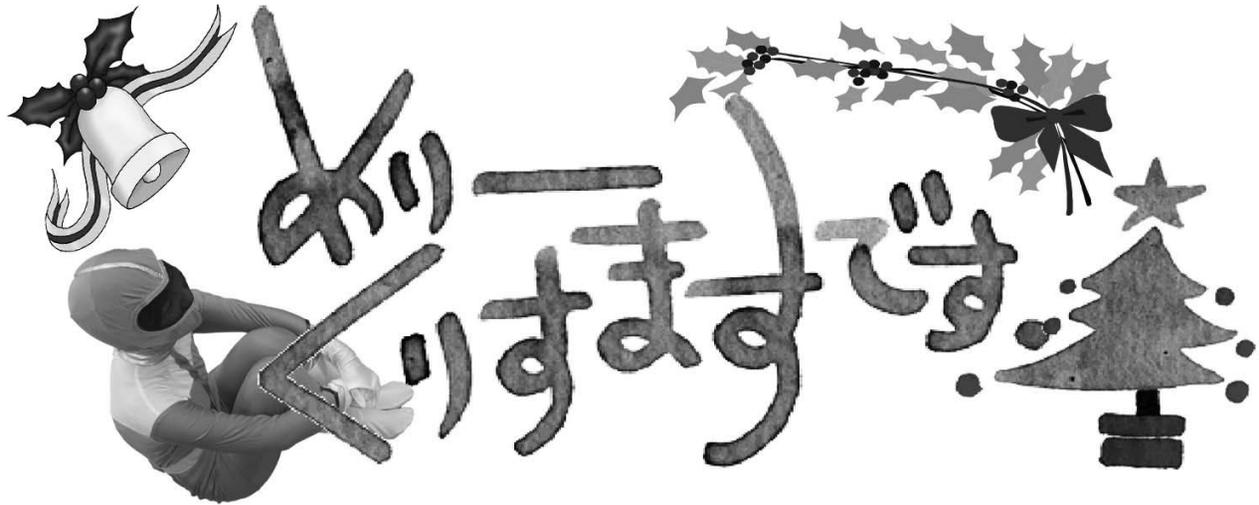
東京都	四人	八分利の	一人
千葉県	三人	福おか	一人
さいたま県	二人		
長野県	一人		
埼玉県	一人		
大さか	一人		
しずおか	二人		
	一人		

もう一つは、ご当地自慢！。各出身都道府県の有名どころ
 等を話してもらいました。東京出身が多いのかなと思ひきや、
 意外とそうでもなくバラけていて、いろいろな話が聞けまし
 た。このコーナーでは同じ出身地同士でチームを組むため、
 新たな交流のきっかけになったように感じました。



いろいろな経験や体験をする事で、心の中に新たな発想や
 想いが生まれたらいいなと思ひます。そんなきっかけの場の
 一つとしてこれからもピアカンをつづけて行きたいと思ひま
 す。





クリスマス会に参加して

わたなべ じゅんこ
渡辺 順子

きよねん かい さんか らいねん さんか
去年のクリスマス会にも参加して、来年も参加できればいいと
おも ことし さんか よ みなさま きょうりよく
思い、今年も参加できて良かったです。ステップの皆様で協力し
て、会を盛り上げようという気持ちが伝わりました。昨年参加し
たときはもっと違う形で参加できればいいと思いました。去年と
じぶん じょうきょう め か いちねん
自分の状況が目まぐるしく変わった一年でした。



さくねん がつ じりつせいかつ
昨年8月から、自立生活
はじめ ぎんちよう はじ
を始め緊張しましたが始め
てとても良かったです。また
ことし さんか
今年も参加したいです。

ねんねん
年々ダンサナクセイバーがパワーアップして
いて、楽しかったです。嵐ショーも振り付け歌
ともに完璧でした。また、ケーキのデコレーショ

ンもしてきれいにできなかつたのですが、
きちょう たいけん
貴重な体験でした。ビンゴゲームのお
てつだ さんか じょうきょう ちが
手伝いもして去年の状況とは、違ってい
うれ
て嬉しかったです。

きよねん まった てつだ
去年は、ゲストで全く手伝えなかつた
ので、少しでしたが、手伝える事ができた
ので、よかったです。今年も参加して、
すこ かい こうけん おも
少しでも会に貢献できればいいと思いま
した。







ぼうさいかん 防災館に 行ってきま^いした!



いちかわ ひろみ
市川 裕美

STEPでは一昨(いっさく)年前(ねんまえ)から少し(すこ)ずつ防災(ぼうさい)対策(たいさく)に
力(ちから)を入(い)れています。昨年(さくねん)は皆(みな)さんにもアンケート
にご協(きょう)力(りき)いただき、着(ちゃく)々(ちゃく)とSTEPとして取(と)り組
むべ(べ)き事(こと)を出(で)来(き)るところ(ところ)から始(は)めています。アン
ケートを見(み)て、災(さい)害(がい)に對(たい)するイメー(イメージ)ジ(ジ)をも(も)つ持
つ事(こと)が大(だい)切(せつ)だ(だ)と感(かん)じ、この度(たび)、本(ほん)所(じょ)の防(ぼう)災(さい)館(かん)
災(さい)害(がい)体(たい)験(けん)を催(もよほ)す事(こと)としま(しま)した。

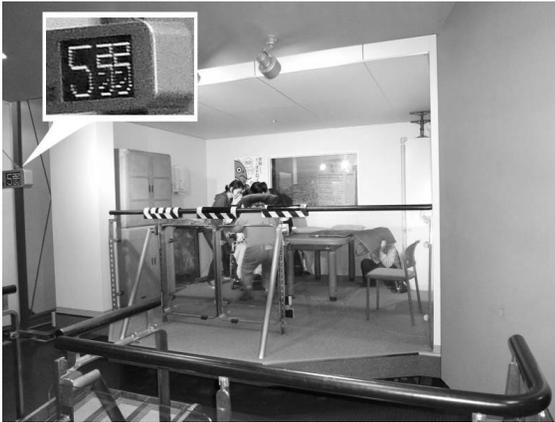


錦糸(きんし)町(ちょう)駅(えき)から徒(と)歩(ぽ)10分(ぶん)ほ(ほ)ど(ど)の所(ところ)に在(あ)る本(ほん)所(じょ)防(ぼう)災(さい)館(かん)。申(まう)し込(こ)み(み)をす(す)れ(れ)ば(ば)個(こ)人(じん)でも
無(む)料(りょう)で体(たい)験(けん)が出(で)来(き)ま(ま)す。最(さい)初(しょ)に震(しん)災(さい)の映(えい)画(が)を見(み)て、そ(そ)れ(れ)か(か)ら実(じつ)際(さい)に体(たい)験(けん)を。

ま(ま)ず(ず)は煙(けむり)体(たい)験(けん)。人(じん)体(たい)に影(えい)響(きやう)の無(む)い煙(けむり)の充(じゅう)満(まん)した迷(めい)路(ろ)のよ(よ)う(う)な所(ところ)を(を)通(とお)る(る)体(たい)験(けん)で(で)す。外(そと)
か(か)ら(ら)は中(なか)に在(あ)る(る)人(ひと)がど(どこ)に在(あ)るかモ(モ)ニ(ニ)タ(タ)ー(ー)で(で)見(み)る(る)事(こと)が(が)可(可)能(能)で(で)す。煙(けむり)は上(うへ)に昇(のぼ)る(る)ので「な
る(る)べ(べ)く身(み)を低(ひく)くし(して)て避(ひ)難(なん)す(する)」と(と)い(い)う(う)の(の)が常(じょう)識(しき)で(で)す(す)が、い(い)ざ(ざ)体(たい)験(けん)し(して)み(み)ると身(み)を低(ひく)
し(して)て歩(ある)く(く)とい(い)う(う)の(の)はと(と)て(て)も(も)難(むず)か(か)く、ま(ま)た、ド(ド)ア(ア)ノ(ノ)ブ(ブ)な(な)ど(ど)の場(ば)所(じょ)が手(て)探(さぐ)り(り)で(で)分(わ)か(か)り(り)に(に)く
か(か)つ(つ)た(た)り、も(も)と(と)も(も)視(しかい)界(けい)が煙(けむり)で(で)見(み)え(え)に(に)く(く)い(い)と(と)ころ(ころ)に普(ふ)段(だん)見(み)て(て)い(い)る(る)視(し)線(せん)と高(たか)さ(さ)が(が)変(か)わ(わ)る(る)
事(こと)で(で)思(おも)い(い)も(も)よ(よ)ら(ら)ぬ(ぬ)誤(ご)算(ざん)が(が)あ(あ)る(る)こ(こ)と(と)が(が)分(わ)か(か)り(り)ま(ま)した(した)。



車(くる)ま(まい)子(こ)で(で)は身(み)を低(ひく)く(く)す(する)事(こと)は非(ひ)常(じょう)に困(こん)難(なん)
で(で)す(す)し、介(かい)助(じょ)者(しゃ)も身(み)を低(ひく)く(く)し(して)て車(くる)ま(まい)子(こ)を
お(お)し(し)る(る)事(こと)は不(ふ)可(か)能(能)で(で)す。そ(そ)の(の)場(ば)合(あ)い、ビ(ビ)ニ(ニ)ール(ール)袋(ふくろ)な(な)ど(ど)を(を)被(かぶ)っ(つ)て(て)避(ひ)難(なん)す(する)と良(よ)い(い)そ(そ)う(う)で
す。市(し)販(はん)に(に)も「けむ(けむ)り(り)フ(フ)ード(ード)」とい(い)う(う)専(せん)用(よう)
のビ(ビ)ニ(ニ)ール(ール)が(が)売(う)っ(つ)て(て)い(い)ま(ま)す。STEPで
び(び)ひ(ひ)ん(ん)と(と)して早(さつ)速(そく)購(こう)入(にゅう)し(し)ま(ま)した(た)が、火(か)災(さい)が(が)起(お)き
き(き)て直(す)ぐ(ぐ)逃(に)げ(げ)だ(だ)す(す)た(た)め(め)の物(もの)な(な)ので、万(まん)が(が)一(いち)



かさいじ じむしょ とど
 の火災時に事務所から届けるわけにはいきませ
 ん。皆さんも是非、自分用（介助の必要な方は
 かいじょしゃよう も）をお持ちいただくことをお勧めしま
 す。

つぎ じしんたいけん とない かしよ たちかわ いげぶくろ
 次に地震体験。都内3箇所（立川・池袋）の
 ぼうさいかん ほんじよ くるまいす たいけん
 防災館のうち、本所だけは車椅子での体験ができ

はないという話だったのですが、今回私達が行くことで交渉を
 かさ くるまいす りよう かのう
 重ね車椅子での利用が可能になりました！ …と言っても
 しんど わたし さいきょう しんど たいけん
 震度5まで。私は最強の震度7を体験させてもらいました。
 「立ってられないほどの揺れ」ってどんなものか興味があ
 りましたが、ほんとう た
 本当に立っていただけませんでした。テーブルの
 した かく
 下に隠れたのですが、テーブルもあし おさ うご
 足を押えていないと動い
 しまう程。体験中は遊園地のアトラクション気分でしたが、
 じっさい ゆ じたく お そうぞう
 実際これだけの揺れが自宅で起きたら…と想像するとやは
 り何か策を講じておかないと…と思います。



それからしょうかたいけん しょうかき こども ころ
 消火体験。消火器は子供の頃からあちらこちらで見ていたし、つか かた
 使い方も
 し 知っていましたが、じっさい つか はじ
 実際に使ったのは初めてでした。いちどたいけん まん いち
 一度体験しておくと、万が一の
 ととき きも すこ ちが おも
 時の気持ちも少し違うかな、と思います。

そして最後にAEDと人工呼吸の体験。これはお手の物！
 すてっぷ えーいーでいー じんこうこきゅう たいけん て もの
 STEPにもAEDは設置されているので、日頃から慣れて
 おかないと…。おも
 と思っています。



いま えどがわく かくしょうがっこう かいじょう
 今、江戸川区の各小学校を会場にして
 えどがわくさいがいたいさくかしゆさい ぼうさいこうえんかい かいさい
 江戸川区災害対策課主催の「防災講演会」を開催していま
 す。ぼうさい きそちしき えどがわく げんじょう わ
 防災の基礎知識から江戸川区の現状などが分かりやすく
 まな でき すいがいひなんこうどうけいかくさくせい てび
 学びます。出来たての「水害非難行動計画作成の手引き」や
 ぼうさい びちく さんかしゃ はいふ
 「防災マップ」、そして備蓄のクラッカーなども参加者に配布
 しています。ぜひ さんか かいさいにちじ しょうさい こうほう
 是非ご参加ください（開催日時の詳細は広報え
 どがわや区のホームページをご覧ください）。

げんざい すてっぷ せっち
 現在STEPに設置されている
 きん きゅう じ び ひん
 緊急時の備品

- ・ 水
- ・ 非常食
- ・ AED
- ・ 救急箱
- ・ 担架
- ・ おんぶ紐
- ・ ヘルメット
- ・ マスク
- ・ けむりフード
- ・ 土のう
- ・ 簡易トイレ
- ・ 発電機 (2台)
- ・ 緊急時安否確認システム (現在改良検討中)

などなど



しょうぼうし かい かねんさつえい
 ヘルメットや消防服などの衣装を借りての記念撮影もできるよ!

はなみ
お花見 2010

ぽあへっし満開!!

まん かい

つちや みねかず
土屋 峰和



ことし とうきょう かいが がつ にち はなみ がつ か
今年の東京の開花は3月21日。お花見は4月3日。うう
～ん… さくら もつかなあ と さいしょ のうち は しんぱい
が、 かいが したあと になん と ゆき が ぱらつく ような げきさむ ひ
もあり、これなら大丈夫だろうと確信しつつ、あとは
てんき かあと ドキドキしながら当日を迎えました。

うんっ! すばらしい!! なんと当日は無風のポカポ
か快晴!! 見ごろの満開ということもあり、願っても

な ぜっこう はなみびより
無い絶好のお花見日和となりました。ちなみに前日は雨、次の
ひは いったん きおん が 下が りメチャ寒。ホント良かったあ。

そんな桜の樹の下、少しずつ恒例になりつつあるこの企画

“モナカグランプリ”も開催しました。ルールは5人にモナ
カを食べてもらい、ハズレモナカを食べている人を当てるゲー
ム。見事当てられたら景品ゲット。外したら、ハズレモナカを食



べてしまったにも関わらず隠し通せたその人が景品ゲット。ある意味それって当たり
りモナカになるのかな。ハズレモナカとは、もちろん美味しいあんこも入っていますが、
それプラス今回は「わさび」「柚子コショウ」「からし」「もみじおろし」。う～ん?

あじ
どんな味がするかは…?? まだ参加したことのない
かた じかい ぜひ
方は次回に是非!!



かいじょう きよねん おな はるえ もりこうえん うれ こと こんかい
会場は去年と同じ春江の森公園。嬉しい事に今回も
たくさんの方にご参加いただき、お子さんも含め総勢
68人と大賑わいでした。また、初めての参加という方
も何人かいらして頂き嬉しい限りです。新たな出会い



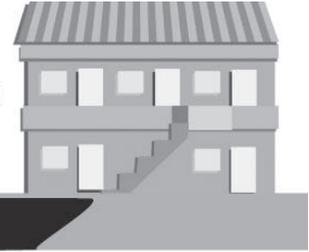
あら こうりゆう たの じかん す
 や新たな交流もでき、楽しい時間を過ごせたので
 はないかと思ひます。そんなきっかけになる空間
 を、これからも創つくっていきたいと思ひます。

さいご あさはや ばしよと じゅんび てつだ
 最後に朝早くからの場所取りや、準備をお手伝
 いて頂いただいた方々、またお料理をお持ち頂いただいた方々
 にこの場をお借りし、お礼を申し上げたいと思ひ
 ます。本当にありがとうございました。





じりつせいかつ む 自立生活に向けて



わたなべ じゅんこ
渡辺 順子

きよねん がつ すえ か ひとりぐ はじ
去年の8月の末からアパートを借り一人暮らしを始めました。

きよねん がつ すえ かながわ しせつ い しせつ びょういん せいかつ
去年の8月の末までは神奈川の施設に居たのですが、ずっと施設や病院で生活して
いくのかと思うと目の前が暗くなりました。

まえ じりつ かつた のですが 両親は心配してなかなか自立する方向にはいきませ
んでしたが、従妹が心配して色々相談に乗ってくれ江戸川の自立生活センターの方を
しょうかい してきて、自立に向けて、色々住宅改修のことや、介助のこと、助成のこと
など制度等のことを、学びました。

それから、部屋を実際に探して施設内にパソコンがあったので、インターネット
で部屋を見たりとか実際に不動産に行って部屋を見たりとかしました。

おも 思ったことは実際に部屋に行ってみないとわからないことがおおく、インターネッ
トの情報だけではわからないと思いました。パソコン上だけでは部屋の段差とか部屋
はい に入るまでの段差ですとか、部屋の中のおくゆききですとか、スペースとかわからな
いので行ってみないとわからないと思いました。

なんかしよ へや み い さが かげつ とちゅう
何箇所も部屋を見に行ったりとかしたのですが探すのに3ヶ月かかったもので途中
で投げ出されたくなったりとか、このまま見つからないんじゃないかと思いました。
じむしょ きんじよ ふどうさん かつ しんせつ かつ しんみ さが なんかしよ み
事務所の近所の不動産の方が、親切な方で、親身になって探してくれ、何箇所も見て
みたところ住宅改修もしても良いというアパートで、8月の末に自立生活を、始める
ことができました。実際に生活し始めたのが、住宅改修が終わって8月の末だったの
ですが、こうじ 2ヶ月かかったので、まち 遠しくて、しかた ありませんでした。

じっさいせいかつ たいへん
実際生活して、まだまだ、大変なことがあ
ると思いますが、自立することは苦労はあり
ますが、楽しいことの方が多いです。

まだ1年は経っていないのでこれから、
たいへん おも まいにち せいかつ なか たの
大変だと思えますが、毎日の生活の中で、楽
しみながら、べんきょう していきたいと思えます。



勝矢光信の情報発信コーナー

かつや みつのぶ
勝矢 光信

ならけん ちゅうがくにゅうがくきよひじけん おも
奈良県の中学入学拒否事件に思う：

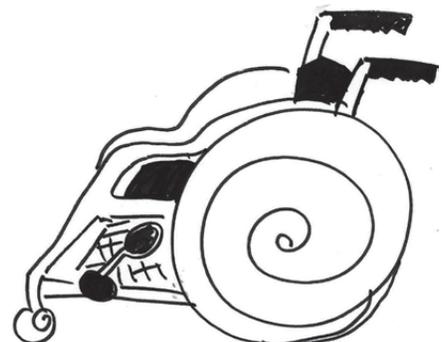
しょうがいじ きょういくいんかい つうち むかし いま うんめい けつてい じゅうよう
障害児にとって教育委員会からの通知は、昔も今も、運命を決定する重要なもの
である。本人の意思を重視するようになったが、つい昔までは「就学免除」通知で、
しょうがっこう い よ ようごがっこうぎむか こんど ぎやく ようごがっこう お
小学校も行かなくて良かった。養護学校義務化で、今度は逆に、「養護学校」に押し
こ けつか せんたく よち な かくち さいばん ほんにん い し
込められる結果になった。選択の余地が無かった。各地の裁判で、「本人の意思」を
だいいち けつてい きょういくいんかい ようごがっこう てきせつ つうち おく
第一とする決定がでて、教育委員会は「養護学校が適切」と通知を送っていた。
「階段で何かあったら責任を取れないから」とTVで教育委員会の人が言っていた。
「おまえなんか せきにん と てれび がめん む さげ なに さげ
に責任とれるのかよ」とTV画面に向かい叫ぼうとしたが、何も叫べ
ないまま あたま ち のぼ じぶん よわ かん なに い じぶん しゃかい に
自分の弱さを感じた。何も言えない自分。社会から逃げた
じぶん と じぶん なん しゃかい せきにん わたし しょうがいしゃ せきにん
自分。閉じこもってきた自分。何でも社会の責任にする私たち障害者にも責任はある
が、「何かあったら」という理由で逃げ回っている「責任者」には「犯罪的逃げ」を
かん 感じる。

ねんかんい げんば せんせい いっしょ く なかま いま どもあぶ
62年間生きてきて、現場の先生と一緒に暮らす仲間は、「今まで、1度もあぶ
ないこと なかった」と言う。「何かあったら責任を取れないから」と言うのは、
あんぜんだいいちしゆぎ いっぱんじん せつとく よ しょうがいじほんにん かのうせい せば
「安全第一主義」の一般人を説得するには良いが、障害児本人の可能性を狭め、
しゃかいさんか しゃかいこうけん まった ひてい
社会参加や社会貢献を全く否定してしまう。

しょうがい も う ほんにん ど じんせい じぶん せい
たとえ障害を持って生まれても、その本人にとっては1度の人生であり、自分の生
せんたく けんり しゃかい けいもう きょういくいんかい ろうじん きゅうたいいぜん
を選択する権利はある。社会は啓蒙されたが、教育委員会の老人は旧態依然である。
すうねんまえ おおいたけんきょういんさいようじけん ふく きょういくいんかい こうせん ふる たいしつ
数年前の大分県教員採用事件なども含め、教育委員会は公選されるべきで、古い体質
をか なんて い われたかわからない。「何かあったら」と。
何も お なるに ねんかん す
起きないのに、何もやらせてもらえないまま、62年間が過ぎた。これからも、
なに なるに ない すうねん なるに な
「何かあったらいけませんから」と言われ、あと数年を「何も無く」すぞすであろう。

くるま とくしゆ
車イスは特殊ではなかった：

ねん まえ め ふじゆう ひと
45年ほど前「目が不自由な人がめがねをかけるよ
うに、足の不自由な人が車イスを使うのは当たり前
あし ふじゆう ひと くるま つか あ まえ
です」と言われても、ピンと来なかった。車イスのない
い こ くるま
時代、東京パラリンピックで政府が50台緊急輸入する





じだい くるま とくしゅ そんざい かん ひと まえ で
 時代、車イスは特殊な存在と感じていた。人の前を出ないで、
 かく 隠れるように生きていた。迷惑をかけてはいけない。結果、
 かいだん 階段だらけの街には出かけられなかった。エレベーターなど
 どこにもなかったし、歩道の段差はあたりまえの社会であっ
 た。スロープ化、エレベーター設置要求を始めた頃、「車イス
 せいかつけんかくだい 生活圏拡大」などと叫んでいたが、高齢化した45年後、やっ
 とエレベーターが設置された社会を見たら、杖の老人・バギー
 の親子・車輪の付いたバッグを持つ女性やビジネスマンが、
 エレベーターを普通^{ふつう}に利用し、地下鉄などを利用する光景を見た。初めて、車イスは
 とくしゅ 特殊ではなかったと知った。特殊な問題は、必ず普遍的問題につながっている。個人
 で悩む必要はない。これは真実である。個人の問題を、社会問題にしていく努力が
 ひつよう 必要^{おも}と思う。

さいぎんかん しゃかいもんだい あきはばらさつじんじけんほんにん じん
 最近感じている社会問題は、秋葉原殺人事件犯人とイギリス人
 じよせいさつがいじけんほんにん 女性殺害事件犯人との共通性。良い家庭で育った劣等感を抱えて、
 しゃかい 社会に適應できない2人。多くの優秀な子が、優秀な親に逆らっ
 て、自己を探し続けている。豊かさの中で、何か共通性を感じる。
 こじん 個人の資質だけの問題ではなく、知識偏重社会の危機を矯正して
 いかなかつたら、同じ事件が起こるだろうし、同じ事件を犯しそ
 うな「つらい親子関係」に悩む家庭も増え続けるであろう。



とくしゅ 特殊を、特殊として済ますことなく、私たち共通の課題として、
 じぶん 自分たちの問題として、おおいに話し合い、解決策を探るべきと思う。電動車イスが
 とくしゅ 特殊^{おも}と思っていた過去を省みると、問題の普遍化がいかに大切かを知る。

しょうがいりよく
障害力：

おおく 多くの障害者にとって、「障害」は一生つきまとう「悪夢」であろうか？いろいろ
 なタイプがある。全く気にしない人、常に必要以上に意識しながら生きる人、反発力
 で出世する人、ひねくれてアルチューになる人、自立心の強い人、依頼心の強い人。
 しょうがい 「障害」は個人的なことである以上に社会的なことである。社会との関係で、「障害
 りよく 力」が生まれる。社会は、今まであらゆる天災・人災を克服してきた。対社会的な
 どりよく 努力は、困難克服に尽きる。障害が、克服すべき対象として厳然として社会に生まれ
 る時、人は知恵をもって、体でぶつかっていく。

そのために、いつも思うのは、障害の存在を善悪でなく、現実として認めること。
 そうしなかつたら、問題は解決に向かって進まない。障害を存在として受け入れるこ
 とが最初の1歩^{さいしょ}と思う。高齢化社会で、やっとその意味を理解してもらえようになっ
 た。

認知症にしても、車イスにしても、イメージのわからない人には、いくら説明しても、馬耳東風、猫に小判。幸福な社会を維持する上で必要なことは、障害を理解し、解決策をさぐる。逆から見れば、社会は、障害の存在に対処することで発展する。障害が社会を刺激し、社会を社会らしくしていく。バリアフリーなどという概念もその1つで、皆が高齢化するのに、だまって見ている人は、自業自得に突入する無知・無能・バカである。知のある人は、社会を活性化する「障害力」を直視するべきである。バリアフリーに取り組む人々は、その重要性を知っている。こうした思考に意識が向いているか、それとも何も考えないでいきているかで、快適な社会になるか否かが決まる。

スカイツリーを見に行こう！



押上に「ムサシの国」を意味する634mタワーが建設中である。江戸川区からも見える330mほどになった。新宿線住吉で、メトロ半蔵門線で押上下車。真下から見上げるとさすがに高い。ここから、桜満開の墨田公園を通り、アサヒビールのビルでビールを飲み、桜橋か吾妻橋を渡って、浅草寺に寄り、大江戸線蔵前から帰宅する2kmコースはお勧め。途中、見るべき所・味わうべき所が、たくさんある。



ダーウィン：

わずか2年間のビークル号の旅が世界を変えた。ダーウィンは、世界で最初に「ゾウガメ」の肉を食べたし、「かものはし」の口をハサミで切った。ダーウィンは、この旅でマラリヤにかかり、ときどきおそってくる寒気を感じながら、「進化論」を書いた。前にも書いたナイチンゲールも長期療養中に「看護論」を確立したが、障害者や患者は時間がたくさんあるので、優れた研究ができる。そういう意味で、障害者は幸せである。金持ちではないが、時間持ちなので冒険ができる。

福祉機器・介護用品・住宅改造のお問合わせは
 お気軽に当店まで！ 自社工場完備で修理・改造がすぐ！
 — 福祉機器のトータルプランナー —

有限会社 パムック



江戸川区南篠崎町2-16-2 第2相栄ビル3F
 (レンタル車いす・車いす保険も取扱っております)

TEL03(5666)4801 | FAX03(5666)4802

へるぱーさんたちのあそびば

あいざわ ゆ き
愛澤 友紀

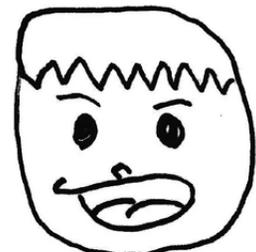
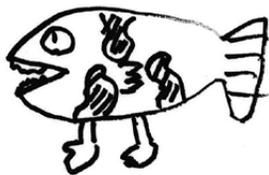
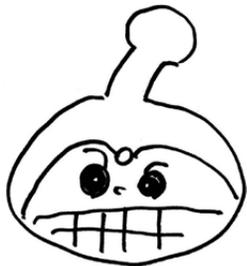
す て っ ぶ はい
STEPに入っあつとゆうまに4年過ぎてました。。。

なん しかく けいけん
何の資格も経験もなくSTEPに飛び込んだのを覚えています。ぶっちやけ障害者
かいじよ し めんせつ し
の介助と知らず、面接で知ったのでした（^^;）老人にせよ障害者にせよ介助には
か かわりないと思ひ、ここをスタートに頑張ろうと思ひました。

ろうじん かた
老人の方もやってみたいという思ひもあつて2年前にホームヘルパー2級も取得し
てみました。いましょうがいしゃ かた ろうじん かた りようほう かいじよ
今は障害者の方と老人の方と両方の介助をしています。いぜん きゆう じじょう
があり利用者さんの了解を得て子供を介助に連れて行った事がありました。時間も短
かったのが良かったのですが、子供に仕事している所を見せる事ができたのは良かった
なあとと思ひました。



かいじよ しごと いろいろ まな
介助という仕事をして色々なことを学びました。STEPに入
るまではせつてん がなかつたしょうがいしゃ かた いろいろ はなし
接点が無かつた障害者の方と色々なお話をしたり出かけ
たり、ないめんてき せいちよう ところ
内面的にも成長できた所もあります。これからもせつきよくてき
かかわっていけたらいいなと思ひます。



かっ どう ほう じく
 活動報告

2009年

- 5/08 STE っ子バザー
- 5/12 江戸川ケーブルTV取材
- 5/14 緊急フォーラム
- 5/15 ヘルパー研修会
- 5/19 国会議員要請行動
- 5/23 かりん燈シンポジウム
- 5/24 ~ 26 ... JIL 総会 & 所長セミナー in 浜松町
- 6/09 災害ILP
- 6/12 STE っ子バザー
- 6/13 ~ 14 D P I 総会 in 函館
- 6/15 ヘルパー研修会
- 6/16 ピアカンサポートグループ (八王子)
- 6/23 災害ILP
- 6/23 ILP リーダーズ
- 6/25 江戸川区自立支援協議会
- 6/28 STEP えどがわ総会
- 7/07 障害者相談員研修
- 7/10 STE っ子バザー
- 7/12 ボランティアフェスティバル
- 7/18 STE っ子夏祭り
- 7/24 淑徳大学講義
- 7/26 もぐら祭り
- 8/14 STE っ子バザー
- 8/15 ヘルパー研修会

- 8/23 ~ 25 TIL・JIL インターンシップ研修
- 9/05 神筋ネットシンポジウム in 京都
- 9/06 ... 江戸川競艇で
チャリティフリーマーケット参加
- 9/10 STE っ子バザー
- 9/11 ... 幹福社会主催
在宅サービス利用者向け災害時研修
- 9/11 もぐらの家納涼祭
- 9/15 脳死についてのシンポジウム
- 9/16 町田ヒューマン：日韓交流イベント
- 9/16 ILP リーダーズ
- 9/17 D P I 東京行動委員会
- 9/18 大行動世話人会議
- 9/19 ピアカンセミナー
- 9/20 ... 「障害者総合福祉サービス法」
タウンミーティング in 西宮
- 9/29 青洞の家バスハイク
- 10/03 STE っ子 B B Q
- 10/6 ~ 10/12 ... 長崎県障害者自立支援施設視察
- 10/09 STE っ子バザー
- 10/11 ~ 10/14 ... ピアカン講座リーダー in 静岡
- 10/29 江戸川区自立支援協議会
- 10/29 国会議員ロビー活動
- 10/30 大フォーラム
- 11/04 TIL 全体会
- 11/6 ~ 8 集中ピアカン

- 11/11 淑徳大学講義しゆくとくだいがくこうぎ
- 11/13 I L P リーダーズあいえるびー
- 11/13 STE っ子バザーすてっこ
- 11/14 帝京平成大学学園祭トークショーていきやうへいせいだいがくがくえんさい
- 11/17 大行動世話人会だいこうどうせわにんかい
- 11/19 TIL 第2回コーディネーター交流会てい だい かい こうりゆうかい
- 12/01 J D F セミナーじえーでいーえふ
- 12/5~6 政策研究会せいさくけんきゆうかい
- 12/10 江戸川特別支援学校授業えどがわとくべつしえんがっこうじゆぎやう
- 12/14 C I L 板橋レイ勉強会しーあいえる いたばし べんきやうかい
(民主党政策について)みんしゆとうせいさく
- 12/17 江戸川特別支援学校授業えどがわとくべつしえんがっこうじゆぎやう
- 12/22 ~ 25 石垣島の障害者施設視察いしがきじま しょうがいしやしせつしさつ
- 12/25 クリスマス会かい

2010年 ねん

- 1/08 STE っ子バザーすてっこ
- 1/15 ヘルパー研修会けんしゆうかい
- 1/31 シンポジウム「ニーズ中心の福祉社会へ」ちゆうしん ふくししゃかい
- 2/01 韓国のCILのスタッフ研修かんこく しーあいえる けんしゆう
- 2/12 STE っ子バザーすてっこ
- 2/14 映画「いのちの山河」えいが さんが
- 2/15 ヘルパー研修会けんしゆうかい
- 2/17 ~ 19 JIL 全国セミナー in 博多じる ぜんこく いん はかた
- 2/18 江戸川区自立支援協議会えどがわくじりつしえんきやうぎかい
- 2/23 厚労省交渉こうろうしやうこうしやう
- 2/24 江戸川区相談支援事業所連絡会えどがわくそうだんしえんじぎやうしよれんらくかい
- 2/26 江戸川区避難行動計画作成委員会傍聴えどがわくひなんこうどうけいかくさくせいいいんかいぼうちやう
- 2/27 大田フォーラムおおた
- 2/27 東京都相談員研修とうきやうとそうだんいんけんしゆう
- 2/28 生活福祉研究機構の医療ケア会議せいかつふくしけんきゆうきこう いりやう かいぎ
- 3/02 ピアサポ
- 3/08 I L P リーダーズあいえるびー
- 3/11 防災館での研修ぼうさいかん けんしゆう
- 3/12 STE っ子バザーすてっこ
- 3/12 障害者と災害シンポジウムしょうがいしや さいがい
- 3/15 ヘルパー研修会けんしゆうかい
- 3/16 タウンミーティング in 神奈川いん かながわ
- 3/19 映画「いのちの山河」上映会えいが さんが じやうえいかい
- 3/19 第5回制度改革推進会議だい かいせいどかいかくすいしんかいぎ
- 3/24 江戸川区相談支援事業所連絡会えどがわくそうだんしえんじぎやうしよれんらくかい
- 3/26 ~ 28 J D F セミナー in 沖繩じえーでいーえふ いん おきなわ
- 3/30 第6回制度改革推進会議だい かいせいどかいかくすいしんかいぎ
- 4/03 禁止条例勉強会：自立生活センター栃木きんしじやうれいべんきやうかい じりつせいかつ とちぎ
- 4/03 ザ・花見2010はなみ
- 4/09 STE っ子バザーすてっこ
- 4/15 JIL 常任委員会 (戸山サンライズ)じる じやうにんいんかい とやま
- 4/16 ピアサポ
- 4/22 順天大高齢者医療センター看護師来訪じゆんでんだいていこうれいしやいりやう かんごしらいほう
- 4/23 遊牧舎主催勉強会「自立支援協議会」ゆうぼくしやしゆさいべんきやうかい じりつしえんきやうぎかい
- 4/26 第8回制度改革推進会議だい かいせいどかいかくすいしんかいぎ
- 4/27 第1回総合福祉部会傍聴だい かいそうごうふくしづかいぼうちやう
- 4/27 I L P リーダーズあいえるびー
- 5/10 制度改革推進会議せいどかいかくすいしんかいぎ
- 5/12 江戸川区相談支援事業所連絡会定例会えどがわくそうだんしえんじぎやうしよれんらくかいていれいかい
- 5/13 TIL 総会 in 戸山サンライズてい しょうかい いん とやま
- 5/14 STE っ子バザーすてっこ
- 5/23 ~ 25 JIL 総会 in 博多じる しょうかい いん はかた
- 5/28 青洞の家バスハイクせいどう いえ
- 5/28 ~ 29 禁止条例勉強会：
自立生活センターほにやらきんしじやうれいべんきやうかい じりつせいかつ

か い っ し ゃ ぼ け い ち ゅ う 会 員 募 集

STEPえどがわは、STEPポリシーとSTEP訓の下、障害者の自立生活に係わる様々な問題に取り組み、ひいては地域に根ざした社会貢献団体になることを目指しています。

つきましては、当法人の活動趣旨にご賛同いただける皆様に会員（正・賛助）になっていただき、共に自立生活センターSTEPえどがわを支え、育てて下さる仲間を募集します。

正会員（正会員は、当法人の定款に定めた総会に参加できます）

- 登録料 5,000円（入会時のみ）
- 会費 5,000円／年

サポーター会員（賛助会員）

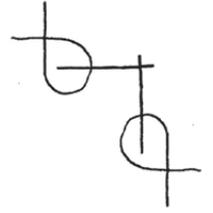
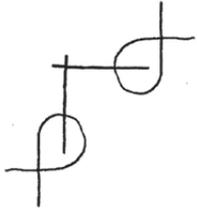
- 個人 1口 3,000円／年（1口以上）
- 団体・法人 1口 10,000円／年（1口以上）

会員には、当法人の刊行物、イベント案内チラシ等を送付致します。

会費納入先

＜郵便振替＞ 自立生活センターステップえどがわ No.00110-0-579238
 ＜銀行口座＞ 特定非営利活動法人自立生活センターステップえどがわ
 三菱東京UFJ銀行 瑞江支店 普通 0548550





編集後記

へん しゅう こう き

今回からは新しいソフトを使っての編集にチャレンジしてみました。覚える事は多いながらも、慣れてしまえば今までのソフトよりは効率よくできそうな気がします。編集にかかる時間が減れば、発行回数も増やせるかも…。今後もより良い会報をお届けできるよう心がけていきますので、よろしくお願い致します。



へんしゅう
編集：

とうきょうとしていきよたくしえんじぎょうしゃ
東京都指定居宅支援事業者
とくていひえいり かつどうほうじん えぬびーおーほうじん
特定非営利活動法人(NPO法人)
自立生活 せんたー **STEP** えどがわ
じりつせいかつ す て っ ぶ

〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町3-9-7
でんわ ふあつくす
TEL 03-3676-7422 FAX 03-3676-7425
ほーむぺーじ
HP <http://www.step-edogawa.com/>
めーる
E-mail main@step-edogawa.com

